



News Letter

日本小児歯科学会九州地方会

令和2年9月15日発行

日本小児歯科学会
九州地方会事務局(令和2年度)

〒890-8544 鹿児島市桜ヶ丘8-35-1
鹿児島大学小児歯科学分野
TEL: (099)275-6262
FAX: (099)275-6268

日本小児歯科学会九州地方会 会長挨拶

公益社団法人日本小児歯科学会九州地方会 会長
山崎 要一



本年4月より日本小児歯科学会九州地方会の会長に就任致しました鹿児島大学の山崎です。微力ではありますが九州地方会の発展に貢献したいと考えております。

さて、昨今の新型コロナウイルス感染症は世界的な拡大が続き、ジョンス・ホプキンス大学の直近のデータで、感染者数は1,000万人、死者数は50万人を超えてしまいました。まさにパンデミックの猛威に直面しています。人類はこれまでに複数のパンデミックを経験しており、14世紀ヨーロッパで人口の3割が死亡したと言われる黒死病や、1918年から数年間にわたって世界中で大流行し、当時の世界人口18億人のうち5億人が感染して4,000万人以上が死亡したと言われるスペイン風邪、20世紀半ばのアジア風邪とホンコン風邪ではそれぞれ100万人以上が亡くなっております。

その後の半世紀は大規模な感染症が発生しておらず、最近の高病原性鳥インフルエンザや重症急性呼吸器症候群なども幸いなことに限局的な範囲で終息したため、感染症への危機感が薄れていた矢先に今回の事態に至りました。

新型コロナウイルスは、WHOの実験室生物安全指針で最も危険な病原体を扱うBSL-4の研究所から流失したとも報じられておりますが、真相は今後の国際的・中立的機関の調査結果に委ねるとして、今回のコロナ禍が人類社会と経済に及ぼした影響は非常に大きく、これまで我々が築き上げてきた価値観を根底から覆す事態となっていることは、誰もが身をもって体験されていることでしょう。

大学病院を含め、各医療機関におかれましても、患

者離れや治療の先送りにより深刻な経営危機に見舞われながら、さらに院内感染防止のために膨大な人的労力と資材を投入せざるを得ず、苦しい日々が続いておられるものと拝察致します。

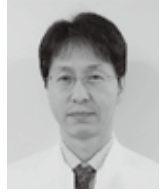
このような環境下での学会活動は困難を極め、第58回日本小児歯科学会 沖縄大会(尾崎大会長)は開催直前にWeb学会に変更され、秋の地方会大会は、本会のご指示で早々に全て開催中止となってしまいました。九州地方会においても、4月の役員会はメール会議となり、地方会大会時の役員会もWeb会議になるものと思われ、研修セミナーは企画できず、今年はこのニュースレターが九州地方会会員の皆様との唯一の接点になりそうです。

来春には第59回日本小児歯科学会 鹿児島大会を開催予定で、準備を進めております。学会活動の1年間の空白を経て、会員が集える現地開催を期する大会となりますが、コロナ感染の終息時期が見通せない中で、5月の段階におけるご参加の皆様への感染リスクの払拭が見込めるかどうかを予測しながら、来年早々には大きな決断を迫られることになるでしょう。

今年は色々な意味で、個人や組織、国家の品格と実力が問われる試練の時となりました。コロナ後は、地方会ならびに本会にとりましても、新しい洗練された価値観と企画や行動が生まれるものと信じ、小児歯科医療を通して、子どもたちにより良いQOLと生涯にわたる健康基盤の育成が提供できるよう、学会を挙げて地道な活動を継続して行きたいと願っております。

令和2年6月

日本小児歯科学会九州地方会 副会長挨拶



九州大学大学院歯学研究院
小児口腔医学分野 教授 福本 敏

この度、日本小児歯科学会九州地方会の山崎会長のもと、副会長を拝命いたしました。新型コロナウイルス感染症の拡大や、九州地方における豪雨災害により、多大な被害を受けた方々に関しましては、心よりお見舞い申し上げます。

私は13年前、東北大学への赴任により九州地方会から北日本地方会に軸足をおき活動するようになりました。北日本地方会では、九州地方会のような活気のある地方会にすることを活動目標とし、地方大会の参加数の増加、有機的な大学間連携の構築、地域の開業医の先生方との連携強化を図ってまいりました。今回、九州大学と東北大学の双方の小児歯科の教室を運営しながら、九州地方会の活動に参加することになりましたが、それぞれの地方会の特色を生かしながら山崎会長の運営をサポートしていければと思っております。

コロナ感染症において歯科は感染リスクの高い職種ですが、日頃からの診療中のマスクの着用、手

洗いの徹底、空間飛沫の低減などの対策により、幸い歯科診療における院内クラスターの発生はほぼ認められておりません。おそらく口腔内環境の改善が、これら新たな感染症においても、その予防や重症化抑制に大きく寄与することが期待されます。政府や地方行政における活動等の自粛要請、さらには感染者や高感染リスク者に対する誹謗中傷など、閉塞感のある社会となってきております。このような社会情勢の中で、明るい未来を提示できるのは小児を対象とした職種であり、まさしく小児歯科医が先陣をきって活動していくことが大切なのだろうと思います。地方会大会も全て中止となりましたが、様々な情報発信ができるような体制を構築できればと思います。九州地方会の皆様のご支援やご賛同をいただきながら活動してまいりたいと思いますので、これからどうぞよろしくお願い申し上げます。

日本小児歯科学会九州地方会 副会長挨拶



そらだ小児歯科医院 院長
空田 安博

この度、九州地方会の山崎要一会長の下で副会長を拝命させて頂きました空田安博です。微力ではございますが山崎会長を補佐して九州地方会の益々の発展に貢献出来るよう努力していく所存です。

さて、今年是中国の武漢から発生した新型コロナウイルスの感染拡大が全世界にパンデミックを引き起こした激動の年になりました。日本の誰しもが予想しなかった新型コロナウイルス感染という対岸の火事が、中国人旅行者によって秘かに日本国内に持ち込まれ国内感染者が急増し、緊急事態宣言が政府から発令されました。県から県をまたぐ移動や不要不急の外出が制限され経済活動の停滞を引き起こしました。

この影響は学会活動にも押し寄せました。第1回九

州地方会役員会もメール会議に変更をしなければならなくなり、第58回日本小児歯科学会大会及び総会は誌上開催となりました。さらに、今年の地方会までもが全て中止に追い込まれました。ワクチン開発はされてはいますが1年以上かかるということなので、引き続き来年もこの影響を受ける可能性が危惧されます。確実な治療薬がない現状では3密を回避する方法しか感染防止対策はありません。したがって、今後の国内の感染状況の動向を踏まえながら、来年度の学会活動は3密を回避しながら開催運営を余儀なくされるものと考えられます。

最後に山崎執行部の今後の運営において、九州地方会会員の皆様方の支援をお願い致します。

日本小児歯科学会九州地方会 特別幹事挨拶



九州歯科大学口腔機能発達学分野
西田 郁子

新型コロナウイルスの影響により、大変なときですが、九州地方会会員の皆様にはお変わりはありませんでしょうか。また、7月の豪雨により被災を受けられた皆様方には、心よりお見舞い申し上げます。さて、今期山崎要一会長のもと日本小児歯科学会九州地方会特別幹事を拝命いたしました九州歯科大学の西田郁子です。力不足かもしれませんが、精一杯務めさせていただきます。

今年に入り、新型コロナウイルスの感染拡大により、私達の生活は大きな変化が要求されています。歯科診療においては、さらなる感染予防対策や新しい診療体系が求められています。歯科受診を不安に感じている患者様たち、そして私たち歯科医療従事者が、安心して診療できる体制を作る必要があります。今まで経験

したことの無いことのため、できるだけ多くの情報を皆さんと共有していきたいと思っております。

また、本年度は、予定されていた地方会大会およびセミナーがコロナ禍のためすべて中止されました。また沖縄で開催予定であった全国大会も誌上開催を余儀なくされました。学会の運営方法も従来通りでは難しく、大きな変化が求められています。第28期日本小児歯科学会理事長に就任された牧 憲司理事長のもと、セミナーのライブ配信などの構築など、新しい方法が検討されています。このような状況の中、日本小児歯科学会本部と九州地方会を結ぶ役割を担い、九州地方会発展のお役に立てたらと考えております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

日本小児歯科学会九州地方会 特別幹事挨拶



福岡市立こども病院 小児歯科長
柳田 憲一

日本小児歯科学会九州地方会の特別幹事として学会のお手伝いをさせていただけることになりました。微力ですが精一杯務めさせていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。私は現在福岡市立こども病院小児歯科で科長をしております。当小児歯科は平成27年4月に開設され、こども病院の中では新しい診療科の一つです。この春に6年目を迎えました。まだまだいろいろな課題と向き合っております。こども病院は福岡市立ですが、福岡市内からの患児は50%を超える程度で、福岡県以外の九州各県からも様々な病気を持つ子どもたちが当院に来られます。必然的に小児歯科でも九州のいろいろな地域の子どもたちと関わりを持つこととなりますが、当科だけでこれら

の子どもたちをフォローすることは全くできません。近年子どもたちのう蝕が減少していることは喜ばしいことですが、重い病気や障害を持つ子どもたちの多くは、まだまだ口腔内が健康に保たれているとはとても言いきれません。九州地方会のいろいろな先生方のお知恵とお力をいただきながら、密に連携をとらせていただくことで、すべての子どもたちの健康を口腔領域からサポートできればといつも考えています。限られた時間のなか、またCOVID-19のため様々に生活様式が変化する中で、私がどれだけお役に立てるのかわかりませんが、できることは何でもお手伝いさせていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

日本小児歯科学会九州地方会 特別幹事挨拶



医療法人おく小児矯正歯科 理事長
奥 猛志

日本小児歯科学会九州地方会会員の皆様におかれましては、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。会員の皆様におかれましては、日頃より会務の運営にご協力いただき厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の影響で、2020年度の日本小児歯科学会大会は全国大会、地方会ともに全て中止となりました。仕方のないこととはいえ、ご準備されていたスタッフの皆様、また、開催を楽しみにしていた会員の皆様にとっては口惜しさと残念なお気持ちでいっぱいだと思います。心中お察し致します。一方、会員の先生方がご勤務されている歯科医院でも、感染対策など患者様への対応に苦慮されていると思います。この未曾有の逆境に対して、知恵を絞り、新たな展開を模索していく必要があります。本会からも随時、コロナ対策の情報が発信されていますので、本会

HPをご活用くださいますようお願いいたします。

地方会運営に関しては、本会の公益法人化に伴い、各地方会も公益法人となり、会計処理等、煩雑な面はございますが、事業運営は実施しやすくなったかと思えます。今期は、山崎会長の事業計画にもありますように、たくさんの事業が計画されています。中でも、一般歯科医師（小児歯科標榜医）への新認証医制度の確立・啓発は地域の小児歯科体制を構築する上で重要な課題です。さらには、地方会大会発表での倫理審査も残された課題として、本会地方会連絡協議会と連携して推進していきたいと思えます。

山崎会長のお役に立てるよう、2年間頑張りますので、どうぞよろしくようお願いいたします。

日本小児歯科学会九州地方会 特別幹事挨拶



イシタニ小児・矯正歯科クリニック 理事長
石谷 徳人

この度、牧 憲司理事長の下で常務理事を拝命したことを受け、九州地方会特別幹事に就任することになりました石谷徳人でございます。

私の学会役員としての第一歩は、先々代理理事長の山崎要一地方会会長より理事のご推薦を受けた時からとなります。当時は右も左もわからぬまま、諸先輩役員のご指導を仰ぎつつ、広報を中心として、庶務、学術、社保と担当し、特別幹事としてはこれまで地方会役員会と理事会との緊密な連携を図って参りました。

今年に入ってから新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、5月に沖縄県で予定されていた第58回日本小児歯科学会が誌上開催となり、7月には熊本県を中心に集中豪雨に見舞われるなど、我々九州各県の会員にとりましても、苦難の日々が続いております。

コロナ禍により様々な部分で制限された状況ではありますが、地域の小児歯科医療に一刻の停滞も許されません。そんな中、今期も引き続き広報委員長を拝命しておりますが、学会ホームページの管理とメールマガジンの編集を通して、国民の皆様や会員をはじめとする歯科医療関係者の方々に向けて、学会からの情報を発信することは、これまで以上に重要な役割になってくるものと考えております。

これからも厳しい時代が続きますが、それでも立ち向かっていかなければならない未来ある子どもたちにとって、本会がより一層頼もしい支援団体となるべく、微力ながら努力して参りたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

第37回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会開催報告

第37回日本小児歯科学会九州地方会大会長
空田 安博

第37回日本小児歯科学会九州地方会および総会は平成元年11月10日に北九州国際会議場で行われた。今回は九州歯科大学口腔機能発達学分野（大会会長空田安博、準備委委員長西田郁子、補佐今村均）が担当し、「生涯にわたりより良い摂食・嚥下機能の獲得を目指して」とした大会テーマのもと九州地区で活躍する小児歯科に関連した歯科医とコ・メディカルスタッフを中心に400名の多くの方々に参加して頂き、特別講演3題、衛生士セミナー1題、シンポジウム1題、ランチョンセミナー2題、ポスター発表29題、専門医更新発表4題、衛生士試験1題が行われ盛会に終わりました。

本大会は、特別講演では全国にご活躍なさっておられる先生方を3名お招きした。昭和大学歯学部スペシャルニーズ口腔医学講座口腔衛生学部門教授の弘中祥司先生による「乳幼児の口腔機能発達と不全」の講演をお願いした。小児の摂食嚥下機能の発達には乳幼児期に感覚に対して引き出される種々の運動・動作を食べる目的に合った機能に統合させることで営まれる随意運動であることを学びました。第2番目に九州歯科大学顎口腔機能矯正学分野教授の川元龍夫先生による「埋伏歯に対する矯正歯科のアプローチ」の講演をお願いした。近年、顎骨の発育不全により埋伏歯の開窓や牽引が増加傾向にあり治療の時期と治療方法の選択などを難症例から知ることが出来た。第3番目に一宮西病院小児科杉山剛先生による「小児の閉塞性睡眠時無呼吸（OSA）と摂食・嚥下機能」の講演をお願いした。最近、小児の未就学児OSAが多く報告され

ており、治療の第一選択としてはアデノイド切除・口蓋扁桃摘出であり、その後の鼻呼吸習慣づけに口腔筋機能訓練（MFT）が注目されていることを学びました。

今回のお昼はランチョンセミナーを2つ設け、「口腔機能不全症を有する小児の口腔管理」のテーマで新潟大学院医歯学総合研究科小児歯科学分野准教授齋藤一誠先生に、「ニシカキナルシーラーBG」のテーマで九州歯科大学口腔治療学分野教授北村知昭先生にして頂きました。また、衛生士セミナーではJSSP会長土岐志麻先生による「生まれる前から口腔機能の育て方」というテーマで、生まれる前から口腔機能を医療従事者としてどのように関わりを持ち支援していくか知ることが出来ました。

シンポジウムでは口腔機能の課題について3名のシンポジストに講演を頂いた。清水歯科クリニック清水清江先生による「臨床現場での口腔機能成育の意義と課題」、九州歯科大学口腔保健学科多職種連携ユニット教授藤井航先生による「超高齢社会における摂食嚥下障害に対するアプローチ」、特定非営利活動法人南日本口腔機能支援研究会理事長佐藤秀夫先生による「地域連携による小児歯科からの摂食嚥下リハビリテーション」と題し、それぞれの立場から行う口腔機能の支援や治療についてお話して頂いた。

最後に本大会の開催にあたり、準備、運営に尽力頂いた九州歯科大学牧教授並びに教室員、ご協力とご協賛を賜った関係各位に厚く御礼申し上げ、本報告を終わりたいと思います。



第37回日本小児歯科学会九州地方会総会議事録

日時：2019年11月10日午前8時45分～9時15分

場所：北九州国際会議場（北九州市小倉北区浅野3-9-30）

1. 開会の辞
司会の馬場庶務幹事より開会の辞が述べられた。
 2. 会長挨拶
日本小児歯科学会九州地方会会長の尾崎会長より挨拶が述べられた。
 3. 公益社団法人日本小児歯科学会理事長挨拶
公益社団法人日本小児歯科学会木本理事長より挨拶が述べられた。
 4. 議長選出
柏木伸一郎先生が議長に選出された。
 5. 議事
 - 1) 平成31（令和元）年度役員の変更について
尾崎会長より平成31（令和元）年度日本小児歯科学会九州地方会役員が野中教授ご退職により福本教授に変更になったことが説明され承認された。その後福本教授からご挨拶を頂戴した。
 - 2) 平成30年度日本小児歯科学会九州地方会会計決算報告
橋本会計幹事より平成30年度日本小児歯科学会九州地方会会計決算が説明された。
 - 3) 第36回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会会計決算報告
岡監事より第36回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会会計決算が説明された。
 - 4) 2) および3) について監査報告
奥監事より2) および3) について監査報告が行われ承認された。
 - 5) 平成31（令和元）年度日本小児歯科学会九州地方会予算案について
橋本会計幹事より平成31（令和元）年度日本小児歯科学会九州地方会予算案が説明され承認を得た。
 - 6) 令和2～3年度九州地方会会長について
尾崎会長より令和2～3年度九州地方会会長は鹿児島大学の山崎教授にお願いしたいと説明され承認を得た。その後山崎教授からご挨拶を頂戴した。
 - 7) 第38回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会準備状況について
山崎副会長より第38回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会準備状況について説明され承認を得た。
 - 8) 第39回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会開催地について
尾崎会長より順番でいくと九州大学が担当となるが長崎大学の藤原教授にお願いしたい旨を説明され承認を得た。その後藤原教授からご挨拶を頂戴した。
 - 9) ニュースレター発行について
石井広報幹事より平成31（令和元）年度ニュースレターの発刊について、役員名簿に誤りがあり、それはホームページ上で訂正されていると説明され承認を得た。
 - 10) 公益社団法人日本小児歯科学会の年会費の値上げについて
公益社団法人日本小児歯科学会田中会計常務より会費値上げの経緯について説明され、承認を得た。
6. 閉会の辞
馬場庶務幹事より閉会の辞が述べられた。

第38回日本小児歯科学会九州地方会大会及び総会のお知らせ

大会長 山崎 要一

この度、第38回日本小児歯科学会九州地方会大会及び総会を下記の通り開催させていただき予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大により、大会は中止になりました。

大会テーマ：こどもを取り巻く連携医療の重要性
～小児歯科ができること～

1. 開催日時：令和2年10月4日（日）
9：00～16：30
2. 会場：かごしま県民交流センター
〒892-0816 鹿児島市山下町14-50
3. 大会内容：
 - 1) 教育講演
「歯科治療中の全身的偶発症に対する歯科医院での対応」
杉村 光隆 先生（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 歯科麻酔全身管理学分野 教授）
 - 2) 特別講演
「島嶼地域を含む鹿児島県の小児医療と支援体制」
河野 嘉文 先生（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 小児科学分野 教授）
 - 3) 歯科衛生士セミナー
「小児の周術期管理における歯科衛生士の役割～患児と家族との関わりを通して～」
帆北 友紀 先生（鹿児島大学病院 臨床技術部歯科部門 歯科衛生士）
「怖くない、また行きたくなる歯医者さんのために歯科衛生士としてできること」
大内山 晶子 先生（医療法人 おく小児矯正

歯科 歯科衛生士)

「子どもの口腔育成を支える歯科衛生士の役割」
北上 真由美 先生（鹿児島大学病院 臨床技術部歯科部門 歯科衛生士）

- 4) シンポジウム「小児在宅医療の現状と小児歯科の役割」

「障がい児者への在宅歯科医療の現状と展望」

石倉 行男 先生（医療法人発達歯科会 おがた小児歯科医院 理事長）

「小児在宅歯科医療 地域の開業医が出来ることを考える ～希少疾患の症例を通して学んだこと～」

西国領 俊子 先生（西国領歯科医院 副院長）

「小児在宅歯科医療-訪問して何をするのか」

小方 清和 先生（東京都立小児総合医療センター 小児歯科 医長）

- 5) ポスター展示

- (1) ポスター発表

一般演題発表・認定歯科衛生士資格申請発表

- (2) 資格更新用ケースプレゼンテーション

専門医・認定医・認定歯科衛生士資格更新用
プレゼンテーション

- 6) 商業展示

懇親会：

日時：令和2年10月4日（日） 12：00～

場所：かごしま県民交流センターと同一敷地
内 ビストロ・ドゥ・レヴ

会費：歯科医師 5,000円 歯科衛生士・

その他 2,000円 懇親会 5,000円

令和3年度日本小児歯科学会九州地方会大会・総会のお知らせ

長崎大学生命医科学域（歯学系）小児歯科
藤原 卓

地方会会員の皆様、令和3年度（第39回）の九州地方会大会および総会は、長崎大学が担当させていただきます。日時は2021年（令和3年）11月28日（日）、会場は「出島メッセ長崎」を予定しております。

長崎では、令和2年3月28日に長崎駅周辺の高架化工事が終了し、新しい長崎駅が開業しました。この新長崎駅の隣には2022年開業予定の長崎新幹線のホームの工事が行われており、北側の国道の上を越える新幹線の高架と、その先のトンネルもしだいに姿を現しつつあり、長崎駅付近の表情も大きく変わって来ております。

次回の地方会の会場を予定している「出島メッセ長崎」は、長崎駅西口に隣接して2021年11月はじめに完成予定のコンベンション施設です。この「出島メッセ長崎」は、まだ建設途中ですが、長崎の新しい核となる施設で、コンベンションホールや多数の大小会議室

と、隣接してヒルトン長崎の開業も予定されており、2023年の全国大会の会場としても想定しております。従来からIAPD2023の誘致活動をしていた関係で、長崎市のコンベンション協会とのお付き合いがあり、開業直後ではあるもの、なんとか地方会が開催できる11月28日（日）を押さえることができました。

COVID-19の蔓延によって、今年度は国内、国際学会の中止や延期が続いており、現時点では感染再発の傾向も続いているところで、先の見通せない状況が続いています。会場が決まっているだけで、大会のテーマなどもまだ決まっておりませんが、なんとかこのコロナ禍を克服して、従来通りの大会が開催されるよう努力してまいります。皆様がそろって長崎に来られ、真新しい会場でお目にかかれることを祈っております。どうぞよろしく願いいたします。

令和元年度 日本小児歯科学会九州地方会 会計報告

単位：円

収 入	
寄付金（口座開設費）	1,000
日本小児歯科学会より入金	1,689,050
利息	6
合計	1,690,056

支 出	
第37回日本小児歯科学会九州地方会大会援助金	500,000
ニュースレター印刷費・郵送費	66,960
学術振興費（歯科衛生士フォーラム）	126,340
ホームページ管理・更新費	296,188
会議費	229,774
通信費	48,132
雑費（振込手数料）	8,832
日本小児歯科学会本部への寄付金	413,830
合計	1,690,056

令和2年3月30日

上記の決算に間違いがないことを証明します。

会計監査	奥	猛志
会計監査	岡	暁子

第37回日本小児歯科学会九州地方会大会収支報告書

単位：円

収 入		
補助金（学会本部）		500,000
当日会費	歯科医師（277名）	1,385,000
	その他（89名）	178,000
懇親会費	67名	335,000
抄録集	43冊	21,500
認定更新審査料	（4名）	12,000
展示・広告・協賛費		879,352
補助金		1,230,000
銀行利子		8
計		4,540,860

支 出		
会場費		642,668
催事費		454,850
招聘費		871,322
運営費（スタッフ・備品・機材）		764,500
装飾関係費		655,250
進行管理費		40,000
業務推進費		907,795
雑費		55,000
その他		149,475
計		4,540,860

令和2年3月31日

上記の決算に間違いのないことを証明します。

会計監査	奥	猛志
会計監査	岡	暁子

平成31年度公益社団法人日本小児歯科学会九州地方会第1回役員会議事録

開催日時：平成31年4月21日（日）11時～12時50分

開催場所：ベイス福岡博多駅東 会議室A03

出席者：尾崎 正雄、山崎 要一、空田 安博、
牧 憲司、西田 郁子、小笠原貴子、
釜崎 陽子、稲田 絵美、馬場 篤子、
久芳 陽一、舩元 康浩、高風亜由美、
木船 敏郎、宮川 尚之、竹島 勇、
柳田 憲一、奥 猛志、岡 暁子、
橋本 敏昭、田村 翔悟、石井 香

欠席者：福本 敏、藤原 卓、久保山博子、
森 奈千子、井上浩一郎、石谷 徳人

（敬称略）

進行：馬場庶務幹事が行った。

1. 開会の辞

空田副会長が開会の辞を述べられた。

2. 会長挨拶

尾崎会長が会長挨拶を述べられた。

3. 議長選出

尾崎会長が久芳県代表幹事を議長に推薦し、全員の拍手をもって議長に選出された。

4. 報告事項

1) 尾崎会長が平成31年度の公益社団法人日本小児歯科学会九州地方会役員の福本常任幹事の紹介を行った。

2) 空田大会長が資料1をもとに第37回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会準備状況について報告を行った。また、牧顧問より開催場所が九州歯科大学から北九州国際会議場へと変更された事が報告された。

3) 宮川鹿児島県代表幹事が資料2をもとに宮崎小児歯科医会第3回オープンセミナーについて報告を行った。

4) その他

・奥監事より公益社団法人日本小児歯科学会理事会について以下の通り報告された。

報告内容

新たな専門医制度について2022年施行を目指している。公益法人化に伴う代議員選挙について、方法や人数について現在規約委員会が新しい規約を作成中である。日本小児歯科学会学会

費の値上げについては、2020年の総会で承認を受けたら2021年度から実施予定である事が報告された。

・木船大分県代表幹事より、新たな専門医制度施行による患者さんの混乱に対する小児歯科学会の対応についての意見が述べられた。それに対し、奥監事より日本小児歯科学会側の対応が述べられた。

5. 審議事項

1) 橋本会計幹事が資料3をもとに平成30年度日本小児歯科学会九州地方会会計の報告を行った。この中で、口座開設費という項目を寄付金（口座開設費）へ修正する事と金額の記載誤りを指摘され、項目名の変更と金額の訂正が行われた。

2) 田村会計補佐が資料4をもとに第36回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会会計の報告を行った。この中で、口座開設費という項目を寄付金（口座開設費）へ修正する事を指摘され、項目名の変更と金額の訂正が行われた。

3) 奥監事が1) および2) に対する会計監査の報告を行い、賛成多数により承認された。

4) 尾崎会長が資料5をもとに平成31年度九州地方会事業計画について説明を行った。この中で、宮川鹿児島県代表幹事より宮崎小児歯科医会第3回オープンセミナーの開催日の誤りを指摘され訂正が行われた。また、山崎副会長が地方会大会優秀賞の選考方法について質問され、牧常任幹事より選考方法についての説明がなされた。これらの点を踏まえ、賛成多数により承認された。

5) 橋本会計幹事が資料6をもとに平成31年度九州地方会予算案の報告を行った。追加で尾崎会長が役員に支給される交通費は、年度内1回分であるとの説明が行われ、本部へ請求するために領収書を提出するようお願いされた。これらの点を踏まえ、賛成多数により承認された。

6) 柳田地方会特別幹事が資料7をもとに歯科衛生士フォーラム2019開催概要について説明を行った。この中で、開催日の変更が報告され、賛成多数により承認された。

7) 石井広報幹事が資料8をもとにニュースレターの発刊についての報告を行った。この中で、宮崎

小児歯科医会第3回オープンセミナーに関する報告の掲載も行われる事になり、出席者の多数の挙手をもって承認された。

8) その他

・山崎大会長が第38回日本小児歯科学会九州地方会大会及び総会を、準備委員長は稲田絵美先生、2020年10月4日(日)に開催(役員会と懇親会は10月3日(土))と説明され、承認された。

・尾崎会長が、次期役員改正に伴い県代表幹事

の選出について例年通り行う事をお願いされた。また、令和2～3年度の会長に山崎副会長を推薦され全員の拍手をもって承認された。

6. 監事総評

奥監事より、地方会も法人化し不慣れな点多々あるが次期会長への期待が述べられた。岡監事より規約の確認の必要性に関して述べられた。

7. 閉会の辞

山崎副会長より閉会の辞が述べられた。

令和元年度公益社団法人日本小児歯科学会九州地方会第2回役員会議事録

開催日時：令和元年11月9日(土) 17時～18時

開催場所：ホテルクラウンパレス小倉 9階 アルタイル

出席者：尾崎 正雄、山崎 要一、空田 安博、
牧 憲司、西田 郁子、小笠原貴子、
釜崎 陽子、稲田 絵美、馬場 篤子、
久芳 陽一、舩元 康浩、高風亜由美、
木船 敏郎、宮川 尚之、竹島 勇、
柳田 憲一、奥 猛志、岡 暁子、
橋本 敏昭、石井 香、
(親学会より木本 茂成、田中 晃伸)

欠席者：福本 敏、藤原 卓、田村 翔悟

(敬称略)

進行：馬場庶務幹事が行った。

1. 開会の辞

山崎副会長が開会の辞を述べられた。

2. 会長挨拶

尾崎会長が会長挨拶を述べられた。

3. 議長選出

尾崎会長が久芳県代表幹事を議長に推薦し、全員の拍手をもって議長に選出された。

4. 報告事項

1) 親学会奥副理事長(当会監事)が資料1～5、7をもとに本会の地方会連絡協議会の方から各地方会の役員会および総会で報告している内容を説明された。

資料1-1：公益社団法人日本小児歯科学会代議員選出の流れ

資料1-2：代議員選挙および補欠代議員選挙規則

資料2：代議員数について

資料4：2019年度、2020年度地方会開催予定

資料5：地方会公益法人化後の運営

2) 空田大会長が第37回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会準備状況について報告を行った。

3) 柳田地方会特別幹事が資料8をもとに歯科衛生士フォーラム2019について報告を行った。

4) 牧常任幹事が当日資料をもとに地方会大会優秀発表賞(2名)・Shofu Award(1名)審査について報告を行った。

5) 石井広報幹事がニュースレター発刊について報告を行った。

6) 山崎副会長が第38回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会準備状況について報告を行った。

7) ここで、親学会の木本理事長がお越しになられたのでご挨拶を頂いた。

8) 親学会の田中会計常務が資料3をもとに年会費値上げについて説明された。

9) その他：橋本会計幹事より出張費についてご迷惑をかけたことについて謝罪された。また、親学会の田中会計常務より地方会役員会の出張費について追加の説明がなされた。

5. 審議事項

1) 久芳議長が資料9の訂正を行った後、尾崎会長が資料9をもとに第37回日本小児歯科学会九州地方会総会式次第について説明され、賛成多数により承認された。

2) 尾崎会長が第39回日本小児歯科学会九州地方会

大会および総会開催地について、本日、福本常任幹事と藤原常任幹事が欠席なので保留にしたい、明日の総会までには決めたいと述べられ、承認された。

6. 監事総評

奥監事：親学会の木本理事長、田中会計幹事に九州地方会へお越しいただいたことに対して御礼が述べられた。明日の大会の成功を祈念された。

7. 閉会の辞

親学会の田中会計常務より、幕間に賛助会員のCMのようなパワーポイントを試験的に流すと説明された。木船県代表幹事より、パワーポイントで流れる業者の商品について、会員に誤解されないように留意してほしいと要望された。空田副会長より閉会の辞が述べられた。

令和2年度日本小児歯科学会九州地方会事業計画

1. 学術活動

1) 学術大会（第38回公益社団法人日本小児歯科学会九州地方会大会）の開催

2) 研修セミナーの開催

上記予定で準備しておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大により自粛することになりました。

2. 学会活動の活性化

1) 表彰制度の実施と運営

2) 広報活動の強化

①ホームページの活性化

②一般社会へ向けた広報活動の推進

③ニュースレターの発行

九州地区 5大学講座一覧

大学分野名	主任教授名	郵便番号	住 所	電話番号	FAX番号
九州大学大学院歯学研究院 口腔保健推進学講座 小児口腔医学分野	福本 敏	812-8582	福岡市東区馬出3-1-1	092-642-6400	092-642-6468
九州歯科大学健康促進科学 機能育成制御学講座 口腔機能発達学分野	牧 憲司	803-8580	北九州市小倉北区真鶴2-6-1	093-582-1131	093-583-5383
福岡歯科大学 成長発達歯学講座 成育小児歯科学分野	尾崎 正雄	814-0193	福岡市早良区田村2-15-1	092-801-0411 (代表)	092-801-0692 (医局直通)
長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 医療科学専攻展開医療科学講座 小児歯科学分野	藤原 卓	852-8588	長崎市坂本1-7-1	095-819-7674	095-819-7676
鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科健康科学専攻 発生発達成育学講座 小児歯科学分野	山崎 要一	890-8544	鹿児島市桜ヶ丘8-35-1	099-275-6262	099-275-6268

九州地区スタディーグループ一覧

研究会名	代表者	事務局	事務連絡先		連絡者 メールアドレス	電話番号	FAX番号	地域単位 の研修会
福岡小児歯科 集談会	二木 昌人		810-0022	福岡市中央区薬院4-1-26薬院大通センタービル2F ふたつき子ども歯科	fc-dental@san.bbiq.jp	092-523-7560	092-523-7540	○
NPO法人 Well-Being	中村 譲治		810-0041	福岡市中央区大名1-15-24Well-BeingBLDG2F	jimukyoku@well-being.or.jp	092-771-5712	092-741-8037	
月曜会	中尾 哲之 (世話人代行)		813-0013	福岡市東区香椎駅前1-9-8第2エクセレント桜井2F なかお小児歯科	nakatetsu2003@jcom.home.ne.jp	092-661-2370	092-661-2380	
小児口腔医療 研究会	橋本 敏昭	福岡歯科大学 成育小児歯科学分野	814-0193	福岡市早良区田村2-15-1福岡歯科大学成育小児歯科学分野内	pedoral@college.fdcnet.ac.jp	092-801-0411	092-801-0692	○
北九州小児歯科 臨床研究会	空田 安博		807-0874	北九州市八幡西区大浦1-5-15 そらだ小児歯科医院	info@sorada.or.jp	093-602-8369	093-602-8381	
佐賀小児歯科 研究会	梅津 哲夫		849-0935	佐賀県佐賀市八戸溝3-8-2 うめづ歯科・小児歯科医院	umedusika@mbn.nifty.com	0952-30-2555	0952-30-5566	
長崎小児歯科 臨床医会	堀内 礼子	池田 靖子	852-8155	医) いけだ歯科医院 長崎市中園町8-7	y1888@ae.aunoe-net.jp	095-843-1888	095-843-1888	○
熊本小児歯科 懇話会	逢坂 亘彦	入江 英仁	861-3206	上益城郡御船町辺田見366-1 入江歯科医院	e.irie@mail.sysken.or.jp	096-282-3188	096-282-3177	
宮崎小児歯科 医会	菅 真弓		880-0124	宮崎市新名爪188番地35 すが歯科	suga-dc@miyazaki-catv.ne.jp	0985-39-9509	0985-39-9508	
宮崎障害者歯科 懇談会	安部 喜郎		880-0834	宮崎市新別府町久保田683-1 宮崎歯科福祉センター	d-senter@mnet.ne.jp	0985-83-3344	0985-83-3345	
小児歯科臨床を 語る会	奥 猛志	長谷川大子	890-0082	鹿児島市紫原4-30-15 はせがわこども歯科	hasegawa@kodomo-dc.jp	099-812-6030	099-812-6031	○
沖縄小児歯科 研究会	竹島 勇	たけしま歯科	904-2143	沖縄市知花1-25-11 たけしま歯科小児歯科	takeshimadental@hotmail.co.jp	098-939-4211	098-939-4244	○

令和2年度小児歯科学会専門医セミナーに関するお知らせ

小児歯科学会専門医セミナーを下記の通り開催させていただく予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大により、セミナーは中止になりました。

専門医セミナー

日 時	令和2年11月23日（月・祝日） 9：45～13：00
会 場	富山国際会議場
講 師	野口 誠 先生（富山大学大学院医学薬学研究部歯科口腔外科学講座） 山田 一尋 先生（松本歯科大学歯学部付属病院育成期口腔診療部門矯正歯科）

日 時	令和2年12月20日（日） 12：45～16：00
会 場	東京歯科大学水道橋校舎新館（仮）
講 師	齋藤 功 先生（新潟大学大学院医歯学総合研究科歯科矯正学分野） 早川 龍 先生（早川歯科医院）

日 時	令和3年2月14日（日） 12：45～16：00
会 場	未定（福岡市）
講 師	北村 拓朗 先生（産業医科大学・耳鼻咽喉科頭頸部外科） 久保田潤平 先生（九州歯科大学・老年障害者歯科学分野）

専門医・認定医合同セミナー

日 時	第1回 令和2年10月11日（日） 12：45～16：00
会 場	千里ライフサイエンスセンター
日 時	第2回 令和2年11月1日（日） 12：45～16：00
会 場	東北大学片平さくらホール
テ ー マ	小児での医療倫理と規範（仮）
講 師	藤原 卓 先生（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科医療科学専攻小児歯科学分野） 小畑 真 先生（小畑法律事務所・日本小児歯科学会顧問弁護士）

日本小児歯科学会九州地方会会則

(平成23年10月10日一部改正)

第1条 本会は日本小児歯科学会九州地方会と称する。

第2条 本会は小児歯科を通じ地域の小児保健の向上に貢献するとともに必要とされる調査研究を行い発表と知識の普及を計ることを目的とする。

第3条 本会の事務局は別に定める所におく。

第4条 本会の会員は九州地区ならびに沖縄県に居住する日本小児歯科学会会員で構成する。

第5条 1. 本会に次の役員を置き、役員会を構成する。

会長 1名

副会長 2名

常任幹事 5名

幹事 若干名

・庶務幹事、会計幹事、広報幹事は本部役員幹事とする。

・次期大会長、地方会推薦理事、本会理事長推薦理事は特別幹事とする。

・大学代表幹事と県代表幹事は一般幹事とする。

・監事 2名（議決権は有さないものとする）

2. 役員任期は、2か年とする。ただし再任は妨げない。

なお、役員は九州地区ならびに沖縄県に居住するものに限る。

第6条 1. 会長は本会を代表し、会務を統括する。

2. 副会長は会長を補佐し、会長が職務を執行できない場合、職務を代行する。

3. 幹事は本会運営に参画し、本会の円滑な運営を計る。

4. 監事は会計および会務を監査する。

第7条 1. 次期会長および監事は、役員会が候補者を推薦し総会で決定する。

2. 県代表幹事は九州地区ならびに沖縄県から選出された代表者とし、その数は各県の会員数に照らし合わせて別に定める。

3. 大学代表幹事は5大学小児歯科講座の推薦によって決定する。

4. 常任幹事は九州地区5大学歯学部小児歯科主任教授とする。

5. 次期役員は総会で決定する。

第8条 本会は毎年1回総会を開き会務の報告、会則の改正、役員選出、会計報告ならびにその他の議事を決定する。

第9条 本会は毎年1回会員による発表ならびに教育的事業を行う。

第10条 本大会は当日会費を徴収できる。なお会費は開催主体が役員に提出し、裁決にて決定する。

第11条 本会には顧問をおくことができる。

第12条 本会の事務年度は4月1日より翌年3月31日迄とする。

第13条 会務の円滑な運営のため、内規を役員会で決めることができる。

第14条 第8条の規定にかかわらず付則2、内規の変更に関し、役員会において行うことができる。

(付則)

1. 本会則は昭和58年4月から施行する。

本会則は平成20年11月23日から改正施行する。

本会則は平成23年10月10日から改正施行する。

2. 本会の事務局は、令和2年4月1日より下記に置く。

〒890-8544 鹿児島市桜ヶ丘8-35-1

鹿児島大学 大学院医歯学総合研究科

小児歯科学分野

日本小児歯科学会九州地方会事務局

T E L : 099-275-6262

F A X : 099-275-6268

(内規)

1. 役員会は現在の年2回から必要に応じて年3回開催する。
2. 九州地区各大学においては、現在地方会会長をまだされていない教授の方々が多くなってきていることより、当分の間は大学の教授と開業医が交互に九州地方会会長として選出されることが望ましい。
3. 監事および副会長は大学、開業医からそれぞれ1名選出する。監事は2名選出する。
4. 日本小児歯科学会への地方会推薦理事は会長が推薦し、役員会で承認する。
5. 一般幹事は、大学代表幹事（5名）と県代表幹事、福岡（2名）、長崎（1名）、熊本（1名）、大分（1名）、佐賀（1名）、宮崎（1名）、鹿児島（1名）、沖縄（1名）の計14名とする。
6. 幹事選出にあたっては、大学代表幹事は各大学の推薦による。また、各県代表幹事は各県下所属の会員による推薦によって選出する。ただし、推薦の結果や各県の事情によって決定に至らなかった場合は九州地方会会長に一任とする。将来においては、各地域において推薦された人を対象として選挙を実施し決定する方向が望ましい。

7. 幹事としてその任に対して十分にその責任を遂行できないと判断された場合は、九州地方会会長は注意勧告することが出来る。さらに改まらない時は役員会の合意を得て、推薦団体に対して責任を果たせる人選を依頼することができる。
8. 九州地方会本会からの大会援助金は一律50万円とし、大会長の要請があれば支出することができる。
9. 大会前日の役員会会議費は九州地方会会計から支出することとする。
10. 歯科医師の当日会費は一律5,000円とする。
11. 学会活動の活性化のため、大会開催以外の予算措置を含めた事業計画を立案し、役員会の承認により実施する。

令和2、3年公益社団法人日本小児歯科学会九州地方会役員名簿

役職	氏名	所属	役職	氏名	所属
会長	山崎 要一	(鹿児島大学)	県代表幹事	森 奈千子	(熊本)
副会長、常任幹事	福本 敏	(九州大学)	県代表幹事	木船 敏郎	(大分)
副会長	空田 安博	(福岡)	県代表幹事	井上浩一郎	(宮崎)
常任幹事	尾崎 正雄	(福岡歯科大学)	県代表幹事	宮川 尚之	(鹿児島)
常任幹事	牧 憲司	(九州歯科大学)	県代表幹事	竹島 勇	(沖縄)
常任幹事	藤原 卓	(長崎大学)	特別幹事(地方会推薦理事)	空田 安博	(福岡)
大学代表幹事	藤田 優子	(九州歯科大学)	同上	柳田 憲一	(福岡)
大学代表幹事	小笠原貴子	(九州大学)	同上	奥 猛志	(鹿児島)
大学代表幹事	岡 暁子	(福岡歯科大学)	特別幹事(理事長推薦理事)	西田 郁子	(九州歯科大学)
大学代表幹事	西口美由季	(長崎大学)	同上	石谷 徳人	(鹿児島)
大学代表幹事(事務局庶務幹事)	稲田 絵美	(鹿児島大学)	監事	奥 猛志	(鹿児島)
県代表幹事	橋本 敏昭	(福岡)	監事	岩崎 智憲	(鹿児島大学)
県代表幹事	今村 均	(福岡)	会計幹事	柳澤 彩佳	(鹿児島大学)
県代表幹事	舩元 康浩	(佐賀)	広報幹事	村上 大輔	(鹿児島大学)
県代表幹事	高風亜由美	(長崎)			

編集後記

残暑の候、皆様方におかれましては、忙しい日々をお過ごしのことと存じます。今年は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、小中学校の夏休み期間は地域によって変則的でした。学会活動に関しましても地方会がすべて中止になる等、各方面で様々な影響が出ております。

来年の全国会につきましては、現在のところあらゆる状況を想定しながら準備を進めさせていただいておりますので、一人でも多くの九州地方会の皆様にご参加いただければ有難く存じます。

最後になりますが、先の豪雨災害にて被害を受けられた皆様には、謹んでお見舞い申し上げるとともに、被災地域の日も早い復旧を心よりお祈り申し上げます。

村上 大輔